

# 2025年度後期「企画に対する学生評価」

## 実習企画(または演習企画)に対する学生評価

あなた自身について	問1 事前に配布された資料を読むなど予習をしましたか。 問2 実習(演習)に積極的に参加しましたか。
実習(演習)計画	問3 実習(演習)の目的は履修要項やガイダンスで理解できましたか。 問4 実習(演習)はおおむねスケジュールに沿って行われましたか。 問5 学生数に対して指導担当者数は適切でしたか。 問6 指導担当者は適切な指導能力を備えていましたか。
実習(演習)内容	問7 実習(演習)の内容は、関連する講義科目の内容と対応がとれていましたか。 問8 事前に配布された資料は、実習(演習)を進める上で役立ちましたか。 問9 実習(演習)によって技術を十分に習得することができましたか。 問10 実習(演習)内容の難易度は適切でしたか。 問11 課された提出物(レポートなど)の量や内容は適切でしたか。
実習(演習)環境	問12 実習(演習)用の設備・機材・用具などは性能に問題はありませんでしたか。 問13 実習(演習)用の設備・機材・用具などは量の面で十分でしたか。 問14 安全に対する適切な指導と配慮がなされていましたか。 問15 学生の人権に対する配慮がなされていましたか。
総合評価	問16 この実習(演習)は全体として満足できるものでしたか。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う      | (非常に良い)   |
| ④ やや思う      | (良い)      |
| ③ どちらとも言えない | (普通)      |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない  | (良くない)    |

科目名：情報科学実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：96 配付数：47 回収数：47 回収率：100.0%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
1.7	4.4	3.8	4.3	3.9	3.8	4.1	3.6	3.8	3.6	3.5	4.0	4.1
問14	問15	問16										
4.0	3.7	3.6										

\*評価に対するコメント

情報科学実習担当教員

There are quite a few people who find data entry tedious. The order of the data can affect the workflow. Regarding the work procedures, no one will give you instructions; you have to decide them for yourself. All of these tasks are learning opportunities. However, even when we are involved in important learning tasks, it is too difficult to understand their significance without the intention to learn honestly. When learning about things we do not know, we must have an attitude of respecting the teachings of those who came before us. If we would like to improve the quality of our learning, it would be good to reflect on this matter.

科目名：基礎化学実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：96 配付数：48 回収数：48 回収率：100.0%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.2	4.5	4.2	4.5	4.3	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	3.9	4.3	4.4
問14	問15	問16										
4.5	4.5	4.4										

\*評価に対するコメント

基礎化学実習担当教員

基礎化学実習は、二年次以降の基礎医学実習や臨床実習に向けた準備教育として位置づけられています。薬品を用いた実験が危険を伴うことを理解し、安全に実験を行うための基本的な技術を身につける安全教育を兼ねた実習です。また座学とは異なり、実際に手を動かして自然現象を体験し、理解を深める学びの場でもあります。今年度は実習を通じて化学の学びが深まった点や、実習資料が学習する上で役立った点、毎週のレポート提出が負担に感じた点など、さまざまな意見が寄せられました。本実習では実習日とは別にレポート作成時間を設けており、今後もこれらの意見を踏まえて実習企画の改善を進めていきます。

科目名：心理・コミュニケーション実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：96 配付数：94 回収数：92 回収率：97.9%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.5	4.1	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	3.8	3.2	3.9	3.9
問14	問15	問16										
4.0	4.0	3.8										

\*評価に対するコメント

心理・コミュニケーション実習担当教員

本実習は医療場面でのコミュニケーションスキルを習得することを目的としており、心理学の基礎実験・心理アセスメント・カウンセリング実習、医療安全とコミュニケーションに関する講義、ユマニチュード実習、および模擬患者による医療面接実習で構成されている。昨年度より学外施設実習が加わり内容が多様化した分、レポート回数を調整して全体のバランスを取っているが、課題量に負担を感じるケースも一部に見受けられた。この点は今後の課題として検討したい。実習への参加度は全般的に高く、コミュニケーションスキルの習得に一定の成果があったと考えられる。本実習は行動科学系教育の基盤の一つに位置づけられていることから、今後も内容を精査し、高学年教育との連携をさらに強化していきたい。

科目名：形態学実習Ⅱ

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：94 回収数：93 回収率：98.9%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.5	4.6	4.5	4.6	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6
問14	問15	問16										
4.6	4.6	4.7										

\*評価に対するコメント

形態学実習Ⅱ担当教員

全体としての満足度が平均4.7と満足できるコースとなったのではないかと考える。学生もかなり予習してきており、スムーズに実習は進行した。例年と同じく担当指導者数に対する評価がやや低かった。肉眼解剖実習では、教員4名により指導に当たったが、質問が集中した場合には対応が遅くなったこともあった。大学の方針として、今後教員数が減少する見込みであるが、十分な指導ができるかどうか不安である。

科目名：生理学実習・演習

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：92 回収率：95.8%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
問14	問15	問16										
4.5	4.6	4.5										

\*評価に対するコメント

生理学実習・演習担当教員

本年度の生理学実習・演習は全体として高い水準で満足できるものであると学生たちは回答している（問16、平均4.5点/5点満点）。6つのテーマから構成された実習全体の高評価は、担当した7名の教員が各自熱意を持って丁寧な指導をこころがけた成果であろう。一方、学生の感想にあった実習終了時間の超過については、担当教員による進捗管理に改善の必要がある。議論が停滞している場合に適切な介入を行うなどの工夫を行う。

科目名：医療社会学実習

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：108 配付数：105 回収数：84 回収率：80.0%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.4	4.0	3.9	4.2	4.2	3.8	4.1	3.7	3.7	3.9	4.0	4.1	4.2
問14	問15	問16										
4.2	4.1	3.8										

\*評価に対するコメント

医療社会学実習担当教員

今年度の授業では、患者とのコミュニケーションへの理解を深めるために、模擬患者との医療面接、入院患者・救急患者との医療面接に加えて、ジェンダーや多様性に関するトピックも扱いました。学生評価の結果から、実習の意図や目的は適切に理解されていると考えられます。しかし、授業の内容に改善すべき点があることも判明しました。来年度の実習をより良いものにするために改善に努めます。

科目名：生体観察実習

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：60 回収率：98.4%

\*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.7	4.4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.2	4.2	4.2	3.8	3.9
問14	問15	問16										
4.5	4.3	4.5										

\*評価に対するコメント

生体観察実習担当教員

生体観察実習は学生の満足度を示す問16が4.5と例年と同様な結果となり、現在の実習方法が一定の評価を得たと考えている。しかしながら実習機器の経年劣化により次年度は脳波実習と腎機能実習の実施が困難な状況になってきている。そのため次年度は別の実習内容となることが必須であるが、新しい実習となってもこれまでの実習と同等あるいはそれ以上の満足度を得られるように努力していきたいと考えている。

科目名：基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）

（看護学科第1学年後期／必修）

履修者数：61 配付数：61 回収数：61 回収率：100.0%

\*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.6	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	3.8	4.3	4.4
問14	問15	問16										
4.6	4.3	4.4										

\*評価に対するコメント

基礎看護技術学（日常生活援助技術）担当教員

授業評価から学生の皆さんが予習をして積極的に授業に参加したことがわかりました。課されたレポートなどの量や内容は適切かが3.8と他より低値でした。週に2回の演習の事前学習、事後学習は負担が多かったかと思いますが、全体としての満足は4.4であったことから充分学べたのではと推測します。事前学習の提示時期を早くしてほしいとの希望がありましたので検討したいと思います。